

全労金2019春季生活闘争ニュース・第7号

長野・近畿・九州労組の要求概要と 単組書記長の決意を紹介します！

◎長野・近畿労組の要求概要

	長野労組				近畿労組（金庫）				近畿労組（関連）			
	正職員	アシスタント職員	シニア職員	シニアアシスタント職員	正職員	準職員			再雇用嘱託職員	正社員	契約社員	嘱託社員
						A	B	C				
基本賃金	大卒初任205,000円 賃金テーブルの書き換え (2,000~15,000円) 昇給額300円の引き上げ	標準評価昇給額5円 の引き上げ 2年目1,000円	-	-	3等級3,000円 の引き上げ	2,000円の引き上げ			-	-		
一時金	4.7	2.4	2.4	2.0	4.2	4.2	1.68	0.42	0.84~4.2	1.0	週5日：80,000円 週4日以内：50,000円	
昨年実績	4.6	2.4	2.4	2.0	4.2	4.2	1.68	0.42	-	0.8	40,500~71,000	
安定雇用	無期転換	-	(実現)	-	-	(実現)			登用状況 を把握	-	要求	
	登用制度	-	(実現)	-	-	(実現)			-	-	(実現)	
最低賃金	時間額990円、日額7,260円、 月額152,500円への引き上げ				(時給1,000円到達)				-			
雇用環境	ジョブリターン	(実現)			(実現)				-			
	年休積立	(実現)			2019年4月から導入				-			
	私傷病休職	-	(実現)	-	-	(実現)			-			
公正処遇	年休	-	(実現)	-	-	(実現)			-			
	生休	-	(実現)	-	-	(実現)			-			
	母性保護	-	(実現)	-	-	(実現)			-			
単組独自要求	組織風土改革の申し入れ				-				- 特別休暇を正社員と同様 季節休暇4日（有給）の付与			
関連会社	関連会社なし											

《長野労組・牛山 健作書記長の決意》

私たちは2月16日に開催した第3回中央委員会において、全会一致で単組2019春季生活闘争方針を確立しました。今春闘では10年ぶりに全単組において賃金改善要求を統一要求に据え、全国の強固な連帯のもとに統一闘争を展開する大変重要な闘争と位置づけています。第4次産業革命を端に発するITの進展や預かり資産等



をはじめとする業務内容の質的・量的変化は私たちの労働の質の転換にも繋がることであり、まさに今こそ賃金の改善を図る必要があります。

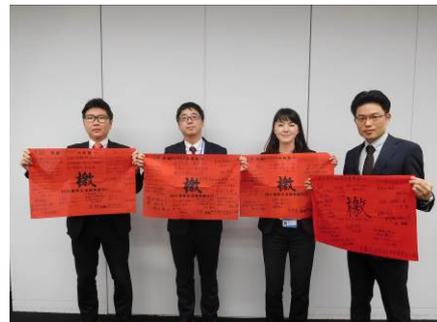
労働力人口の減少や日銀のマイナス金利政策の継続等金融業態における経営環境は決して楽観視できるものではないことは確かです。だからこそ、今後の厳しい経営環境を乗り切るため

に、組合員への最大限の投資こそが金庫にとっての最適解であることをしっかりと訴えていきます。

長野労組 324名の組合員全員で確立した今春闘要求内容の貫徹に向け、全国の仲間とともに最後まで闘い抜く決意です。共に頑張りましょう！

《近畿労組・小寺敏雄書記長の決意》

近畿労組は、2月23日に開催した第2回中央委員会において、組合員の総意のもと「2019春季生活闘争方針」を決定しました。2019春闘では、近畿労働金庫・ろうきんビジネスサポートで働くすべての労働者が、「福祉金融機関の事業」や「労働者自主福祉運動の担い手であること」に誇りと



働きが

いを感じられ、将来に夢や希望を描くことで、組織全体が前を向いて、一体感のある事業運営・職場運営にするべく、「統一闘争」および「統一取り組み」を展開します。金庫・会社を取り巻く環境と収益状況から、非常に厳しい交渉になることが想定されますが、環境の変化に対応し、生産性を高めながら、日々の業務遂行に奮闘している組合員の

思いに応えなければなりません。

組合員の総意で確立した春闘方針に自信と確信を持ち、全労金組織の強固な団結を背景にしながら、要求を勝ち取るために不退転の決意で闘い抜くことを誓います。

共に頑張りましょう。

◎九州労組の要求概要

	九州労組（金庫）				九州労組（関連）		
	正職員	準職員	パート職員	アスタト職員	正社員	嘱託社員	再雇用嘱託社員
基本賃金	高卒・短大卒初任6,000円 2等級S1 2,270円 3等級S2 2,690円 の引き上げ等	4,290円 の引き上げ	3,930円 の引き上げ	3,750円 の引き上げ	4,000円 の引き上げ		10,000円 の引き上げ
一時金	4.3	3.5	3.0	3.0	4.0	2.5	—
昨年実績	4.3	3.1	2.4	2.4	3.9	2.3	—
安定雇用	無期転換	(実現)			—	(実現)	—
	登用制度	(実現)			—	(実現)	—
最低賃金	(時間額1,000円に到達済)				時間額1,000円、日額7,330円、月額154,000円への引き上げ		
雇用環境	ジョブリターン	(実現)			—		
	年休積立	(実現)			制度の新設		
	私傷病休職	—	(実現)		—	正社員と同様	
公正処遇	年休	(実現)			(実現)		
	生休	—	(実現)		(実現)		
	母性保護	(実現)			(実現)		
単組独自要求	—	リフレッシュ休暇と費用補助（永年勤続）		永年勤続表彰制度の改善			—

《九州労組・長谷川真一書記長の決意》

九州労組2019春季生活闘争は、全労金組織における「統一闘争」として、統一要求課題である基本賃金の改善を柱とした上で、これまで進めてきた「公正処遇・均等待遇」「底上げ・底支え」の運動や、「同一価値労働同一賃金」の実現に向け、具体的な要求を掲げています。



私たちの事業体が、すべての労働者のために、今後も社会的役割を果たし続けるには、すべての職員・社員の結集が不可欠であり、事業体の責任として、これまでの奮闘に対し、2019春季生活闘争で掲げた要求に応える必要があると考えます。私たちは、そのような事業体の姿勢が、労働金庫で働くことへの誇りや喜びに繋がり、労働者自主福祉運動をさらに発展させるための原動力に繋がるものと確信しています。

九州労組闘争委員会は、829名の組合員の思いだけでなく、全労金組織 9,000名の仲間と共に闘っていることを強く意識し、要求に拘りを持ち、最後まで闘う決意です。共に頑張りましょう！

※ 次号は3月12日(火)に配信予定です。

※全労金HP (<http://www.zenrokin.or.jp/>) もご覧ください！

以 上